

頁	行・図	誤	正
13	3行目	隣接ノードを $j$ を考え,	隣接ノード $j$ を考え,
22	下4行目	式(1.17)	式(1.16)
	下3行目	成立するので, $dg(\mathbf{x};s)/ds=0$ より	成立する. $dg(\mathbf{x};s)/ds=0$ を仮定すると
31	6行目	$(y-1)\cos s-1$	$(y-1)\cos s+1$
32	図2.1の横軸	時刻 $t$	$x$
33	2行目	$o(\Delta t)$ は $\Delta t \rightarrow 0$ で $\Delta t$ よりも	$o(\Delta x)$ は $\Delta x \rightarrow 0$ で $\Delta x$ よりも
	3行目	$\lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{o(\Delta t)}{\Delta t} = 0$	$\lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{o(\Delta x)}{\Delta x} = 0$
35	下3行目	を考える.	を考える. $\partial f(y,t)/\partial t$ に対して移流方程式(2.3)を考慮すると
36	10行目	高い方向から低い方向に	高い方から低い方に
47	1行目	式(2.34)	式(2.33)
57	9行目	固有値 $\lambda_i$	固有値 $\lambda_\mu$
62	下5行目	特性量のを	特性量を
67	3行目	本節では, 前節で示した	本節では, 2.2節で示した
	下11行目	関数 $q(x,t)$ を定義すると	関数 $q(x,t)$ を定義する.
	下8行目	となる. ここで,	ここで,
68	2行目	時間経過とともに	時間経過とともに
78	14行目	$q(x,t)$ が極大点	$q(x,t)$ の極大点
79	9行目	関数 $f(x,t)$ の極大点	関数 $q(x,t)$ の極大点
83	1行目	である. ただし,	である. ここで $d_i$ はノード $i$ の次数を表す. ただし,
	図3.4の縦軸(2箇所)	$\Phi$	$q$
101	2行目	$h(a,h;t) =$	$g(a,h;t) =$
135	1行目	$0 \leq \beta < 1$	$0 < \beta < 1$
136	1行目	$(\beta\rho - s_j(t))$	$(\beta\rho - s_i(t))$
143	下7行目	$0 \leq \beta < 1$	$0 < \beta < 1$
169	下3行目	$y = \int^x \frac{1}{f_2(y)} dy$	$y = \int^x \frac{1}{f_2(u)} du$
174	下5行目	過去の時刻 $t$	式(6.29)は過去の時刻 $t$
184	下3行目	$(dq(t)/dt)$	$(d\langle Q^* \rangle_t/dt)$
209	下2行目	$X$	$dX$